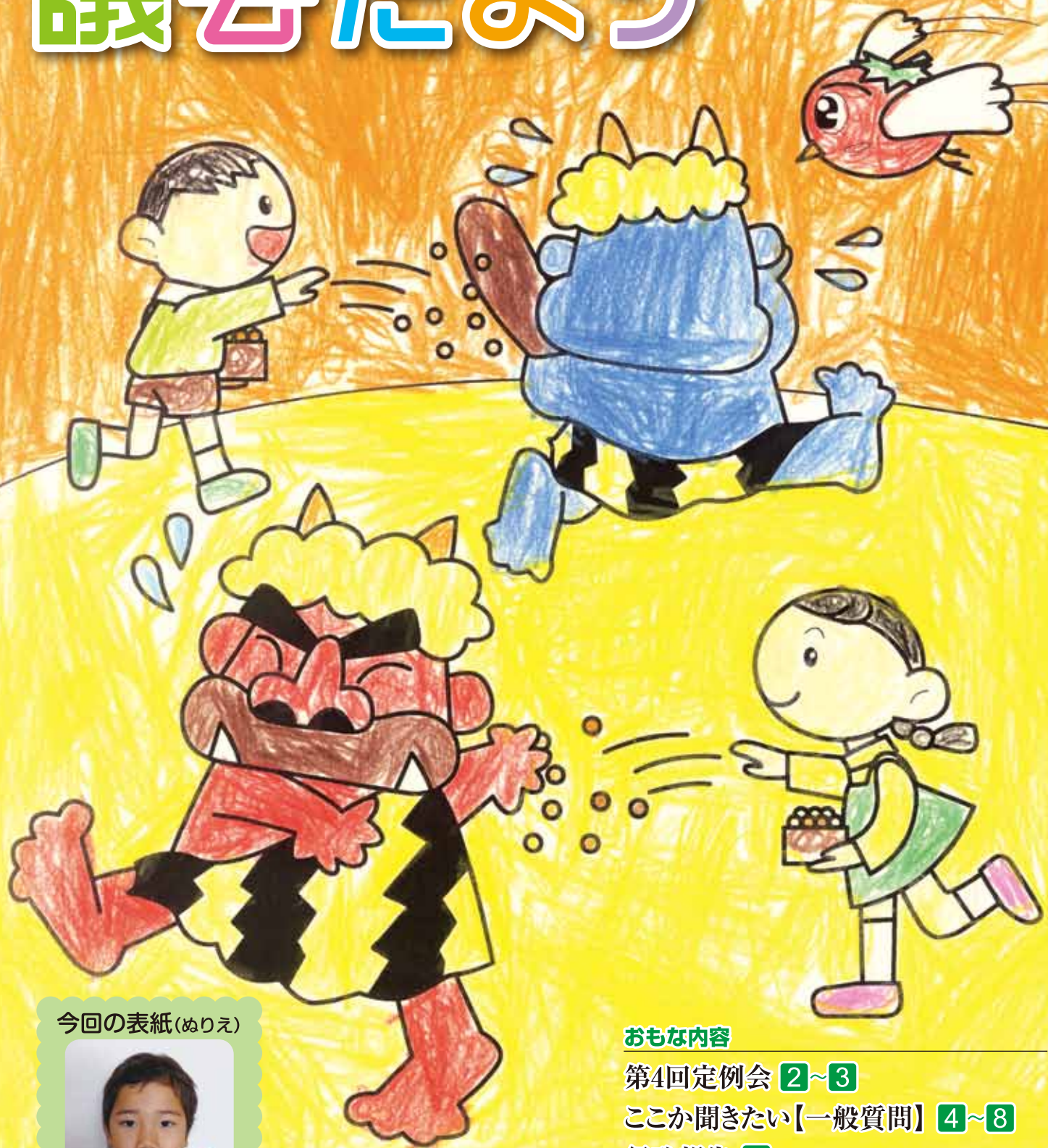


きそさき 議会だより

VOL. **74**
2013
平成25年2月1日発行



今回の表紙(ぬりえ)



中部幼稚園・保育園
まつなが そらさん
の作品

おもな内容

第4回定例会 **2~3**

ここか聞きたい【一般質問】 **4~8**

行政報告 **9**

議会日誌 **10**

議員トピックス **11**

本年もよろしくお願ひします。

木曾岬町議会議員 定数8名(欠員1名)



議長 伊藤好博



副議長 三輪一雅



9番議席 中村富男



8番議席 伊藤正



5番議席 伊藤民男



3番議席 花井 實



2番議席 伊藤律雄

平成24年

第4回

木曾岬町議会

定例会

第4回木曾岬町議会定例会は、12月11日から18日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、承認1件および平成24年度各会計の補正予算案、条例改正案など、合わせて議案7件が審議されました。

11日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後承認議案を審議し、原案のとおり承認されました。続いて町長提出議案7件を上程し、町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受け散会しました。

14日には、一般質問が行われ、4名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照)その後、議案の質疑を行い散会しました。

最終日の18日には、町長提出議案7議案を一括上程し、討論・採決を行い、全議案ともに全会一致で原案のとおり可決し、第4回定例会を閉会しました。



議事内容

可決した議案

◎執行部提案

議件名(議案の内容)

■承認第3号 専決処分事項の承認を求めることについて

(平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第3号)について)
※平成24年11月16日第46回衆議院議員総選挙、第22回最高裁判所裁判官国民審査の執行が決定したことにより、この選挙執行経費として既決予算額に歳入歳出それぞれ7,000千円を追加し、予算総額を2,830,000千円とした補正予算です。

■議案第61号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第4号)について

※既決予算額から歳入歳出それぞれ48,000千円を減額し、予算総額を2,782,000千円とする補正予算です。
今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・和泉幹線道路(川西幹線道路)の測量設計委託料を、補助事業化の検討により減額
- ・雁ヶ地福崎線道路改良工事を、県道バイパス工事の進捗状況により減額

・地域防災計画の改訂に伴う作業委託料を、国・県など上位計画との整合性をはかることにより減額

■議案第62号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ40,373千円を追加し、予算総額を879,879千円とする補正予算です。
今回の主な補正内容は次のとおりです。
・医療費の大幅な増加による、療養給付費および高額療養費の増額

議件名(議案の内容)

■議案第63号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ2,259千円を追加し、予算総額を88,862千円とする補正予算です。
今回の主な補正内容は次のとおりです。
・過年度の療養給付費負担金の交付額確定による増額

■議案第64号 三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

※平成25年3月31日をもって多気学校給食センター管理組合が解散し、三重県市町公平委員会から脱退することにより、共同設置する地方公共団体の数が減少することについて協議を行うものです。

■議案第65号 三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について

※多気学校給食センター管理組合の脱退に伴い、規約を変更することについて協議を行うものです。

■議案第66号 桑名・員弁広域連合規約の変更に関する協議について

※平成25年4月1日から、環境基本計画の策定および推進など、桑名・員弁地域の広域的な環境保全に関する事務を行うため、規約を変更することについて協議を行うものです。

■議案第67号 木曾岬町環境基本条例の一部改正について

※平成25年4月1日より、桑名・員弁地域の広域的な環境保全に関する事務を、桑名・員弁広域連合において行うため、本条例の一部改正を行うものです。

聞いて
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表）で
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

4名の議員が質問

ページ数 5 — 2番議席 伊藤律雄 議員

● 木曾岬町自主運行バス新規路線（源緑・見入線）の運行について

ページ数 6 — 8番議席 伊藤 正 議員

● 干拓地及び木曾川堤防の補強を
● 干拓地メガソーラーの税収は
● まちづくり交付金について

ページ数 7 — 1番議席 三輪一雅 議員

● 小学校、中学校の学力について

ページ数 8 — 5番議席 伊藤民男 議員

● 加藤町政について

Q&A



一般質問



2番議席 伊藤律雄 議員

木曾岬町自主運行バス新規路線 (源緑・見入線)の運行について

公共交通機関としての使命を
果たしていきたい 町長

質問

新規路線は、木曾岬町生活交通計画に基づき、中央線に次ぐ需要の高い地域の運行、また、中央線の朝7時台の乗客分散化をはかる目的として、今年の7月より運行しています。現在の利用者数、運賃収入、運行経費をお尋ねいたします。

答弁

木曾岬町自主運行バスにつきましては、地域公共交通会議や議会の皆さま方と協議を重ねながら、地域の公共交通機関としての役割を果たして参りました。本年7月1日に中央線と一部重複させて源緑・見入線を運行開始させていただきました。利便性の向上によって地域住民の交通の役割を果たしているところでございます。

質問の新規路線の11月までの利用者数は6,944人、月平均1,389人で1日当たり平均45人となり、1日7往復の運行ですので、一便当たりは平均32人の利用者数となっております。参考に、平成19年度に試行運転しました外周線

の1便当たりの利用者数は19人でありましたので、外周線より上回った結果となっております。

また、運賃収入では99万6千円、月平均19万9千円となり、11月までの運行経費は50万4千円となり、月平均にしますと100万円ほどの運行経費となっております。

月平均での収支はマイナスでありまして、公共交通の使命として地域の足としての役割があり、高齢者や学生、勤労者など、他に交通手段を持たない方々への地域交通行政としての役目も必要であるかと思えますし、見込みと実態の相違する甘さが出ていることは反省しなければなりません。アンケート調査の分析の難しさ、公共交通の使命もご理解をいただきたいと存じます。

今後は、生活交通計画の計画期間が平成25年度を目標設定されておりますので、さらに利用しやすいバス運行に努め、収益性を高めるべく改善すべきところは改善し、地域公共交通会議に施策を諮りながら、公共交通機関としての使命を果た

していきたくと考えています。

再質問

5月7日の全員協議会において、執行部側から提出された1年間の利用者数の見込みと相当の人数の差があると思われる。また、運行経費も年1,200万円、半額としても600万円と過大な金額になります。町民の皆さまから自主運行バスは何だと、いつも空席で運行しているのではないかと、うかがいます。

再答弁

総務企画課長
バスの乗客の多くは弥富駅へ行かれる方ですので、それぞれの接続を上手に使用して乗客数を増やせないか検討させていただき、改善すべきところは来年の時刻改正に合わせて取り組んでいきたいと思っております。

自主運行バス



干拓地及び木曾川堤防の補強を

関係市町が一体となって国などに要請していきたい——町長



8番議席 伊藤 正 議員

質問

国交省は、伊勢湾台風後に建設された鍋田干拓地から知多半島に向けての高潮防波堤を、5mから8mに嵩上げして、2014年度に完成すると新聞で報道されました。当町も当局からの事業説明を受けていませんが、木曾岬干拓の堤防や木曾川堤の安全は、確保できるのでしょうか。

答弁

名古屋港の高潮防波堤かさ上げ工事は、名古屋港および背後地を高潮災害から守るものとして整備されるもので、今回の対応としては、名古屋港基準面+8mにかさ上げを行うものであり、T.P.に換算しますと+6.6mの高さとなります。

よって、名古屋港のT.P.6.6mより、干拓地の堤防がT.P.約7mと高く、木曾川堤も7mから7.7mと高くなっており、影響は少ないと考えています。木曾岬干拓地の河川堤防につきましては、現在、老朽化に伴う損傷の点検が実施されており、基盤

整備の強化を押し進めていく必要があります。三重県と桑名市、木曾岬町が一体となって、海岸部の堤防改修、河川堤防の改修を国などの関係機関に要請していきたい。

(※T.P.:東京湾平均海面高)

干拓地メガソーラーの税収は?

事業費が確定した段階で検討していきたい

町長

質問

干拓地メガソーラー事業者が決定して、平成26年10月に稼働となつていきます。町民の皆さまも税金に期待しておられますが、どれ位になりますか。当局の言われる厳しい財政運営を、今後どのように考えていかれますか。

答弁

17年間の償却資産税ともう一つの国有財

産等所在市町村交付金ですが、完成したメガソーラー施設地の評価額によって交付額が違ってきますので、固定資産の評価額や施設の事業費がはっきりした段階でお知らせし、財政計画もかみ合わせて考えていきます。



高潮防波堤改良箇所

木曾岬干拓地 高潮防波堤の改良箇所

まちづくり交付金について

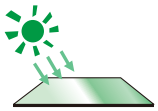
積極的に事業推進を図っていきたい——町長

質問

町民体育祭、秋のお祭り、防災訓練など実施され、ほぼ年間行事も終盤にはいりましたが、書類に手間がかかると言われる町内会36地区の申請状況はどのようになっていきますか。また、来年度予算はどのようにされますか。

答弁

町内16地区の申請となっております。書類関係もいろいろと議論した中で、それぞれの役員さんが、手間のかからない方法で作らせてもらいました申請内容としてありますので、事業効果を上げていきたい。



一般質問



1番議席 **三輪 雅** 議員

小学校・中学校の学力向上に 関して今後の取組みは？

今までの取組みを検証しつつ
新たな取組みを進めていきます

教育長

質問

文部科学省は、小学6年と中学3年を対象に、4月に実施した2012年度全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。

出題内容としては算数(数学)、国語、理科となっていました。都道府県別のランキングとして、三重県は小学校が47位中45位、中学校が38位となりました。

聞くところによると木曾岬小学校と中学校としては、全教科において全国の平均点のみならず、三重県の平均点にも及ばなかったとのこと。

現在小学校では、土曜チャレンジスクールなどの取組みを始め、小・中学校においても電子黒板導入を進めたり、「トマッピ」教

育プラン」の作成などで木曾岬の子どもたちの分析や教育方針をまとめていただいたところですが、単純な成績だけで見ただけの場合、前回より低下しているようです。

もちろん教育は学力向上が全てではありませんが、町としてこの状況についてどのように考えていますでしょうか。また、今後の取組みにおいて新たな施策や方針などがあればお聞かせください。

答弁

町長

昔から国づくりは人づくりと言われており、木曾岬の子どもさんたちは、木曾岬の宝だと思っております。学校教育の環境づくりは、最優先で取組みをさせていただいているところであります。教育委員会、学校、家庭が共通認識のもとに、こういった改善をはかっていく必要があると認識しております。

答弁

教育長

今回の調査結果は、とても残念なものとなりました。教育行政を担う当事者として、学校ともども反省をし、何とか改善をはかっていきたいと考えています。調査の結果を分析しています。基本的な内容の理解については、おおむね定着をしていますが、活用力には

課題が見られます。

9月に教育委員の皆さんと学力の高い福井県への視察研修を行いました。福井県のさまざまな取組みを参考に、保幼・小・中で連携をしながら教育改善ができるか検討

土曜チャレンジスクール



話しつつ、保護者や地域の皆さんと協働して取り組む必要があると考えています。これまでも、さまざまな施策を取り組んできましたが、結果としては残念な状況となっております。今までの取組みを検証しつつ新たな学力向上に向けた取組みを進めていきたいと考えています。

加藤町政について

全力で町政の推進を
図っていききたい 町長



5番議席 伊藤民男 議員



役場庁舎

質問

就任以来3年半が経過しようとしていますが、多くの約束をされ町長のイスに着かれたわけですが、行財政改革・変えよましい木曾岬・町政に今こそ新しい風をなど約束されました。

3年半を振り返って総決算し、これからどの様な町にするかを、再度見直しこの先の事を述べられる時期にきているのでは無いでしょうか。町民の中には、期待されていた多くの方たち

は、何が変わっただろうとか、どの様な風が吹いたのだろうかとか、多くの方々が心配をされています。

いまだ、任期は半年弱残っているわけですが、町民の方々に夢と希望を与えていただくために、さらなる木曾岬町の発展をしていただく事を願います。加藤町長の決意の程をお伺いします。

答弁

木曾岬町には、長年にわたって培ってきたノウハウや長所などすばらしいものがございしますが、時代とともに町民の意識や感覚とはほど遠い旧態依然とした行政の体質に、間違つたことを誰も直そうとはしない、当たり前前を当たり前に変えることであり、当たり前前の新しい風を吹き込んで変えていくことが、大切ではないでしょうか。

就任以来、全力

で取り組んでまいりました重要課題や施策を、項目ごとに達成度を5段階にあらわして総括をさせていただきました。

就任直後に取り組んだ「小中学生までの医療費の無料化」「町長の退職金の50%相当分のカット」を始め、審議会、委員会の抜本的な見直しなど、おおむね達成できた施策や人事評価制度、事務改善報告制度、団体補助金の見直しなどの行財政改革は現在進捗中ではありますが、町には集中改革プランという計画がありながら、実態すら知らず有名無実であったものを、職員自らを取り組むようになったこと自体が一つの前進であり、今後も継続的に取り組んでいくことが大切であります。

他の事業も、農地・水保全管理事業、地域づくり推進事業など、各地域での主体的な事業展開により地域のコミュニティの活性化を目指す取り組みがされており、防災対策や避難行動にも役立つことであり、新たな地域づくりの成果を

期待しつつ今後も積極的に事業推進をはかって参りたいと思います。

他の施策の中には、町民の皆さんの期待に答えきれず、反省をしており、全力を傾注して参りたいと存じます。

今後については、推進中の施策目標の達成に全力をあげる事を第一に、その上で、特に防災対策は待ったなしの最優先課題であり、高潮堤防の耐震化対策や、防災拠点としての避難所を兼ねる複合型施設やコミュニティ施設の建設、資源やポテンシャルを活かした町づくりと、メガソーラーを第一歩とした木曾岬干拓地の土地利用の促進など、安全・安心で活力のある町づくりを目指して第5次総合計画の策定に取り組んで行かなくてはなりません。今日まで進めてきた施策をさらに推進させるとともに、新しい木曾岬町の発展と町民の皆さんの暮らしを守るため、全身全霊をかけて町政の推進をはかって参りたいと決意をいたしているところであります。

行政報告

(要旨)



加藤 隆 町長

師走に入り、慌ただしく日々が過ぎていく感がありますが、1年を締めくくろうえでは大切な日々でもあり、きたる新たな年に向けて、なお一層頑張っていきたいと思っております。

それでは、木曾岬干拓地に関わります2点の行政報告をさせていただきます。
まず1点目は、かねてから三重県が公募しております木曾岬干拓地でのメガソーラー設置運営事業における事業候補者の決定であります。

木曾岬干拓地メガソーラー設置運営事業は、本年の8月3日に三重県約62ha、愛知県16haの合わせて約78haを貸し付ける形で、企画提案コンペ方式にて事業候補者の公募がなされました。この企画提案書の提出が10月1日に締め切られ、6

社からの提出を受けまして、10月15日に選定委員会にて企画提案書の書類審査と事業者へのヒアリングなどが実施されました。そして11月6日の選定委員会にて事業候補者の選定が行われ、翌日の7日に三重県物件競争入札審査会にて事業候補者が決定されました。

事業候補者に決定しました事業者は、東京都に本社を置く総合商社の「丸紅株式会社」でございます。国内は勿論のこと、世界各地でエネルギー開発を展開されております。

今後の予定としましては、電力会社との契約申し込みを平成25年3月までに終え、平成25年5月から平成26年9月までの1年5ヶ月の工事期間を経まして、平成26年10月から20年間のメガソーラーによる発電運転を開

始する予定となっております。また、企画提案されております「地域貢献」につきましては、今後、三重県と関係市町とで具体的な方策を詰めていくことになろうかと思っております。

この度の、メガソーラー設置運営事業の決定によって、この木曾岬干拓地が地域の発展に寄与する産業集積地になっていくことを望みつつ、常に申し上げているように、雇用と税収の早かられる土地活用が一刻も早く実現できるように、メガソーラー事業を弾みとしてさらに全力を挙げて参りたいと思っております。

次に、木曾岬干拓地土地利用検討協議会の設置についてであります。当町には、木曾岬干拓地の高度利用に向けた土地利

用のあり方の検討と提言を得る組織として、「木曾岬干拓土地利用検討委員会」が平成17年に設置されまして、町議会との連携を取りながら、提言や要望活動を展開して参りました。

この度、わんぱく原っぱの開園、メガソーラー設置運営事業の開始などがあり、木曾岬干拓地の土地利用が大きく一歩進む中において、今後の土地利用については、地元市町との連携をはかりながら検討を行っていく組織として「木曾岬干拓土地利用検討協議会」が本年11月22日に設置され、同日に第1回の会合が、三重県桑名庁舎で開催されました。

残念ながら当初からの愛知県の参加はありませんが、三重県副知事を議長とし、地元桑名市長と木曾岬町長に三重県地域連携部長、桑名県民センター所長を委員とする構成で設置され、その下部組織として、三重県と桑名市、木曾岬町の担当部課長などで構成する調整会議を置いて、今後は、具体的な土地利用の検討のための調査研究や土地利用の

あり方などをそれぞれの立場において意見を交換しながら検討していくとしております。

初回の会合では、協議会の設立の趣旨と干拓地整備の経緯と現状の報告を受け、土地利用検討の進め方について協議がなされ、さまざまな産業の立地を視野に入

れ、平成25年度には土地利用の方向性の決定、平成26年度には土地利用計画の策定を土地利用検討の進め方のスケジュールとしていくことを確認し会議を終えました。

40年以上も待ち望んだ木曾岬干拓の土地利用検討の第一歩がようやく始まったところであり感慨深いものがあります。

今後は、このような進め方で木曾岬干拓地の土地利用計画の策定に向けて、進んでいくことになりましたので報告させていただきます。

以上、木曾岬干拓地に関わる2点の行政報告とします。

議会日誌

2012 10月

- 24日●七里の渡し起工式（六華苑）に議長出席
- 25日●治水昭和の宮例祭（治水神社）に議長出席
- 29日●議会全員協議会
●議員懇談会
- 30日●三重県関係部長等との意見交換会（津市）に議長出席
- 31日●木曾三川公園25周年記念セレモニー（木曾三川公園センター）に議長出席

2012 11月

- 1日●北勢5市5町意見交換会（四日市市）に議長・副議長出席
- 2日●集客施設視察研修（伊賀のもくもく他）に議員多数出席
- 4日●秋の文化祭開会式に議長出席
- 5～6日●議会議員視察研修（有明ソーラーパワー他）に議員多数出席
- 9日●高潮防波堤改良事業の事業説明（木曾川下流河川事務所）に議長出席
- 13日●例月出納検査
●定期監査
- 14日●全国町村議会議長大会（東京都）に議長出席
- 15日●定期監査
- 30日●議会全員協議会
●議員懇談会
●ふれあい広場実行委員会に議長・副議長出席
●夜間防犯パトロール（町内）に伊藤（民）議員出席

2012 12月

- 2日●町内一斉清掃に議員多数出席
- 4日●障がい者計画策定委員会に三輪議員出席
- 5日●防犯委員会に伊藤（民）議員、伊藤（律）議員出席
- 6日●議会運営委員会
- 11日●木曾岬町議会第4回定例会（初日）
- 14日●第4回定例会（一般質問日）
●議員懇談会
- 17日●まちづくりプロジェクト審議会に副議長、中村議員出席
- 18日●第4回定例会（最終日）
- 19日●社会福祉協議会中間監査に伊藤（正）議員出席
●新成人と語る集いに議長出席
- 20日●社会福祉協議会評議員会に副議長出席
- 21日●例月出納検査
●ふれあい広場委託業者選考会に議長出席
- 25日●複合型施設建設委員会に伊藤（律）議員、三輪議員出席

2013 1月

- 3日●木曾岬神社正月祭に議員多数出席
- 6日●消防出初式に議員多数出席
- 10日●議会広報常任委員会
- 11日●三重県町村議会議長会理事会（津市）に議長出席
- 12日●成人式に議員多数出席
- 14日●サミット会議（桑名市）に副議長、伊藤（律）議員出席
- 15日●総合計画策定委員会に副議長、中村議員出席
- 16日●障がい者計画策定委員会に三輪議員出席
- 21日●議会広報常任委員会

みなさまの
ご意見を
募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、何でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会
（議会事務局）

TEL 68-6108

議会をぜひ、
傍聴にきてください。

議会は、どなたでも自由に傍聴することができます。

次回、3月定例会、本会議の予定です。

- 3月 5日(火) 午前9時 開会、議案上程
- 15日(金) 午前9時 一般質問
- 19日(火) 午前9時 議案採決、閉会

なお、日程などは変更する場合がありますので、議会事務局まで、お問合せください。



問合せ先

議会事務局 TEL 68-6108



町村議会議長全国大会が開催されました

11月14日、東京都渋谷区の「NHKホール」で、第56回町村議会議長全国大会が開催され、伊藤(好)議長が出席しました。

この大会の目的は、地域を再生するためには、東日本大震災の復興を引き続き集中的・積極的に、自治能力を高め、都市と農山漁村が「共生」しうる社会を強力に進めていくことが重要であり、国は、地方分権改革を推進するため、昨年、第1次一括法および第2次一括法を制定したが、依然として残された課題は多く、これまで以上に、全国の町村の声に十分耳を傾け、真の分権型社会が実現されることを大いに期待し、当日、「東日本大震災からの復興及び大規模災害対策の確立

「分権型社会の実現」といった大会決議16項目の採択と「町村税財源の充実強化」「社会保障制度改革」に関する特別決議4項目を採択し、閉会されました。



町内一斉清掃に参加

12月2日、恒例となりました「町内一斉清掃」に議員も参加し、主要道路などに落ちている空き缶などのごみ拾いを行いました。

年2回実施されているこの町内一斉清掃は、早朝より多くの方々のご参加によって地域周辺の環境美化に向けて活動をいただいております。こうした活動から地域の一体感やボランティア意識の高揚などが感じられました。

今後とも、地域美化にご協力をお願いします。



行政視察を実施

12月18日、木曾岬町議会第4回定例会の閉会後に、行政視察として木曾川堤防補強工事（源緑輪中地先）の視察を行いました。

この工事は、災害対策事業の一環として、国土交通省の河川事業により、地震発生時において、液状化による堤防破壊を防止するため、液状化対策として、地盤改良を実施することにより堤防を補強するものです。



編集後記

平成25年の新しい年を迎えられ心からお慶び申し上げます。

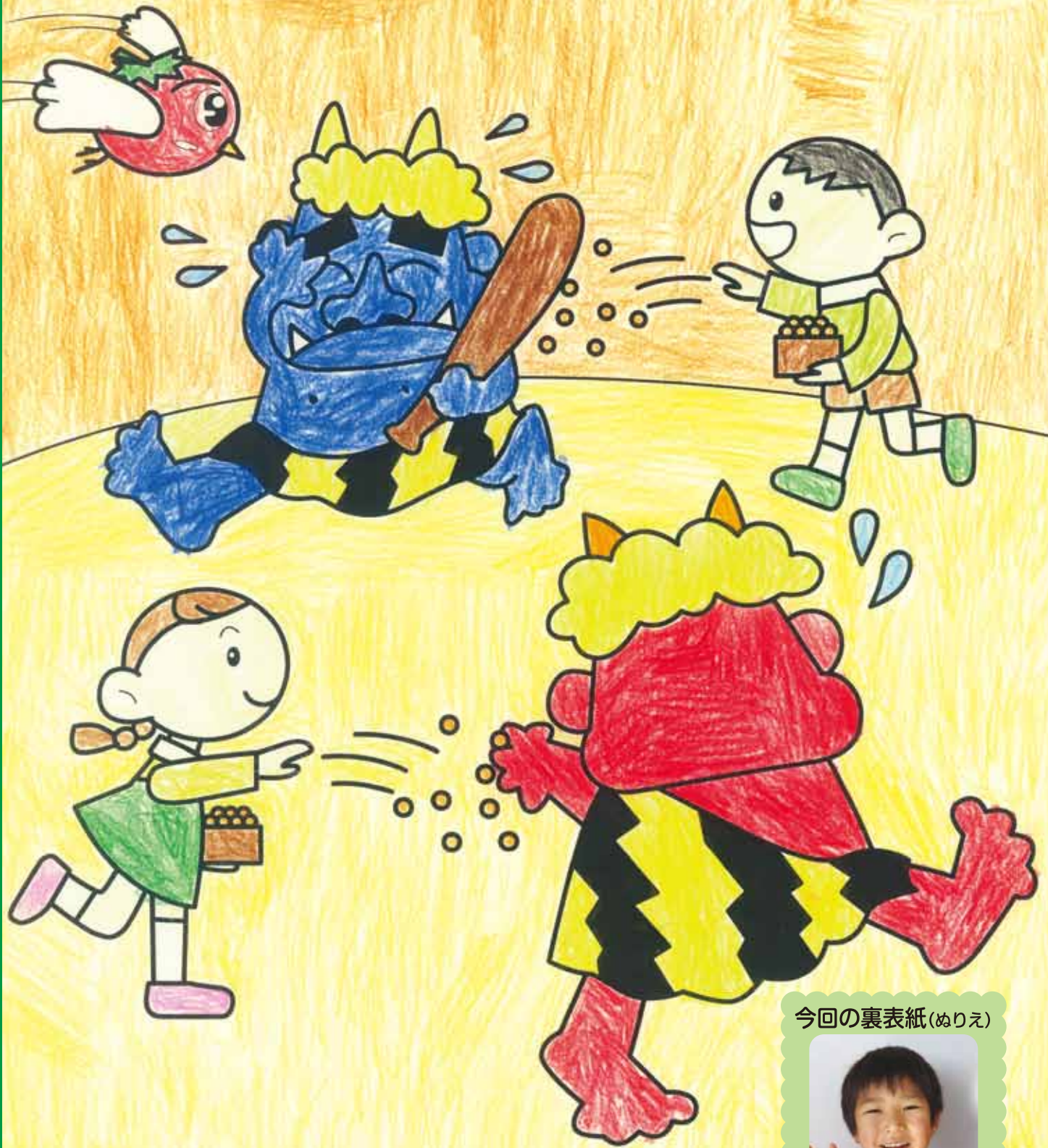
今年、木曾岬町においては、木曾岬干拓地に大手商社丸紅様によるメガソーラーの事業が開始され、稼働は平成26年10月とのことです。長年待ち望んだ干拓の土地利用に大変期待するところであります。

また、昨年12月25日に、木曾岬町複合施設建設委員会が発足されました。複合施設建設に向けての基本計画により、基本方針として人にやさしく町民に親しまれる施設、町民サービスの向上を目指す施設、防災拠点として新しい庁舎の建設案が出されました。一年でも早く建設されますよう期待するところであります。

ここに、第74号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





今回の裏表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園
たにがわ けいさん
の作品